

## 日本英文学会九州支部第78回大会 Proceedings

目次：

### 【研究発表】

場所に縛られる女性たち——ヴァージニア・ウルフの <i>To the Lighthouse</i> におけるラムジー夫人の再解釈 -----	伊瀬知 ひとみ 1
対格動名詞の格付与について -----	白木 佳帆 3
tough 構文における基底生成分析の再考 -----	知京 健真 5
ECM 補文節における統語的構造の問題について -----	中山 凌太 7
分詞構文の統語的意味的分類に関して -----	永松 尚子 9
日本の民俗学的国家形成へのアイルランドからの影響——イエイツ、ハーン、柳田 -----	西村 昌記 11
重名詞句転移における前置詞残留禁止の問題について -----	平野 湧久 13
“Mixing Memory and Desire” —— D.サリンジャーの「ガラス家の物語」における「時間」 -----	増田 樹理菜 15

### 【シンポジウム】

#### 第1部門 「イギリス文学」

百年後の今、ヴァージニア・ウルフを読み直す

女性の老いと名もなき人々への想像力 -----	原田 寛子 17
『ダロウェイ夫人』における想像とコミュニケーション -----	鶴飼 信光 19
人新世に読み直す『灯台へ』 -----	原田 洋海 21

#### 第2部門 「アメリカ文学」

可視／不可視のナラティブ

三人称全知を問う——思弁的なナラティブとしての「火を熾す」 -----	小林 正臣	23
「誰かが俺を撃ちやがった！」——フォークナーの『館』における不可視の主体 -----	藤野 功一	25
「隠されたものを見つける」——「レシタティブ」における不可視の語り -----	河野 世莉奈	27

2026年3月4日 発行  
日本英文学会九州支部